

令和7年度 全国学力・学習状況調査 本校の調査結果の概要

札幌市立月寒中学校

質問紙調査の結果について

全国と比較して肯定的な回答の割合が高いもの

質 問 事 項
○ 人が困っているときは、進んで助けていますか。 ○ 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。 ○ 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。 ○ 学校に行くのは楽しいと思いますか。 ○ 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。 ○ 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。 ○ 分からないことを詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。 ○ 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。 ○ 1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。(学習塾、家庭教師、インターネットを活用した学習時間も含む) <平日は2時間以上、休日は3時間以上と回答した割合>

全国と比較して肯定的な回答の割合が低いもの

質 問 事 項
● 自分には、よいところがあると思いますか。 ● 将来の夢や目標をもっていますか。 ● 困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。

結果の分析と今後の改善の方向

質問紙調査の結果から、本校の生徒たちが学校生活を充実させ、他者への思いやりや社交性が着実に育っていることがうかがえます。学習面においても、主体的・対話的な学びが日々の授業の中で定着し、生徒たちが前向きに取り組んでいる様子が見られ、その姿勢が各教科の成果にも反映されています。

一方で、自分の良さを実感しづらかったり、将来の目標を具体的にもちにくい生徒が一定数いたりすることも明らかになりました。また、困りごとや不安を感じても、先生や大人に相談しづらいという回答も見受けられ、学校全体で支援のあり方を改めて見直す必要があるという課題が見えてきました。

これらの結果を踏まえ、今後も学びの充実を図るとともに、自己肯定感を高める授業や活動、夢や目標づくりを支援するキャリア教育の充実に努めてまいります。また、生徒が安心して悩みを相談できる環境づくりにも引き続き取り組んでまいります。

教科に関する調査の結果について

結果の概要については、学習指導要領で示されている各教科の領域について、本校の平均正答率を全国の平均正答率（全国平均）と比較して５段階で表しています。

【 ５段階 】	
上回っている	+3.1 ポイント以上
ほぼ同程度であるが、やや上回る	+3.0～0 ポイント
ほぼ同程度である	全国平均と同じ
ほぼ同程度であるが、やや下回る	0～－3.0 ポイント
下回っている	－3.1 ポイント以下

【国語】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
「言葉の特徴や使い方に関する事項」 ◇全国平均を上回っている。 「話すこと・聞くこと」 ◇全国平均とほぼ同程度であるがやや上回っている。 「書くこと」 ◇全国平均を上回っている。 「読むこと」 ◇全国平均とほぼ同程度であるがやや上回っている。	○語彙力の不足。 ○資料や機器などを使った表現力の不足。 ○用途に応じて材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。 ○登場人物の設定の仕方を捉えること。	○普段の授業から多くの言葉に触れる機会を意図的に設ける。 ○プレゼンテーションの授業を行うなど、実際の授業の中で、資料や機器を使わせ自らの意見を表現させる機会を設ける。 ○情報の取捨選択を日常的に意識させる機会を設ける。 ○読み取りの指導を工夫し物語ごとの登場人物の役割などを考える機会を充実させる。

【数学】

本校の概要

「数と式」

◇全国平均を上回っている。

「図形」

◇全国平均を上回っている。

「関数」

◇全国平均を上回っている。

「データの活用」

◇全国平均を上回っている。

今回の調査における課題

○与えられた式の意味の読み取りや説明。

○平行四辺形になることの証明。

○1次関数の増加量や変化の割合についての理解。

○確率の求め方。

改善の方向

○普段から授業で行っている「式の意味」や「公式の成り立ち」、「答えや解を求めるまでの解き方の説明」をより丁寧に行い、生徒自身が説明できる力を育てる。

○図形の証明分野は覚えるべき定型文が多々あり、それをどこでどう使うか予測できる力が必要であるため、様々な問題形式に触れて定型文を取捨選択できるように指導する。

○変化の割合は関数の考え方の大本であり、グラフの基礎基本でもあるため、2次関数と合わせて定着できるよう指導する。

○それぞれの独立事象に対して、樹形図を用いながら場合分けをして求めていくことが重要なため、樹形図の意味を理解できなかったり作成が苦手だったりする生徒に対しては丁寧かつ粘り強い指導をしていく。

【理科】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
「エネルギー」 ◇全国平均を上回っている。	○考察をより確かなものにするために必要な実験を選択し、予想される実験の結果を説明すること。	○実験を通して得た知識及び技能を活用して、条件を変えても、予想される実験結果を適切に説明できるよう、活動の充実を図る。
「粒子」 ◇全国平均を上回っている。	○化学変化に関する知識及び技能を活用して、実験の結果を分析して解釈し化学変化を原子や分子のモデルで表すこと。	○実験の結果を正確に分析して解釈するとともに、その化学変化を正しく原子や分子のモデルで表すことができるよう、自己調整をする活動の充実を図る。
「生命」 ◇全国平均を上回っている。	○植物の葉、茎、根のつくりに関する知識及び技能を活用して、植物の茎の横断面や根の構造について適切に表現すること。	○学んだことが、日常生活のどのような事象と深く関わっているのかを考察する場面の充実を図る。
「地球」 ◇全国平均を上回っている。	○小学校で学習した知識を基に、地層に関する知識及び技能を関連付けて、地層を構成する粒の大きさや隙間の大きさに着目して地層を分析・解釈すること。	○小学校で学習した内容と中学校で学習する内容のつながりを実感できる観察や実験の充実を図る。